

2022全日本ボクシング選手権大会実施要項

- 1 主催 一般社団法人日本ボクシング連盟
- 2 主管 2022全日本ボクシング選手権大会実行委員会
- 3 後援 墨田区 東京都ボクシング連盟

※スポーツ振興基金助成事業

- 4 会場 墨田区総合体育館
〒130-0013 東京都墨田区錦糸 4-15-1 TEL 03-3623-7273
- 5 期日 令和4年11月22日(火)～27日(日)
- 6 日程 令和4年10月30日(日) 組み合わせ抽選(オンライン) 18:00

11月22日(火) スポーツエントリーズチェック
女子 8:30
男子 9:45
女子監督会議 9:45
男子監督会議 11:00
開会式 13:30

11月23日(水) 競技開始 11:00
11月24日(木) 競技開始 11:00
11月25日(金) 競技開始 11:00
11月26日(土) 競技開始 10:00
11月27日(日) 競技開始 10:00
閉会式 競技終了後

※ インテグリティ研修は事前にオンラインで実施する。

申し込み選手数によって健診・競技開始時間に変更になる場合がある。

変更があった場合は、(一社)日本ボクシング連盟(以下日本連盟)ホームページ並びに大会参加者オープンチャットで公表する。

- 7 参加資格 (1) 昭和57年(1982年)1月1日から平成16年(2004年)4月1日までに生れた者で、申込日までに日本連盟に本年度の選手登録を完了している選手であり、以下の条件のいずれかに該当する選手であること。

ア男子は日本連盟の9ブロックの代表選手であること。

なお、ブロック別各階級代表選手の出場者数は、次のとおりとする。
北海道1・東北1・関東1・北信越1・東海1・関西1・中国1・
四国1・九州1（ブロック内での移動は認めない。）

イ女子は各都道府県の代表選手であること。但し各階級日本連盟推薦選手を除く 選手数が10名以上の申し込みがあった場合は、各ブロックで予選会または選考会を行いブロックの代表選手を決定する。

その際のブロック代表者数は次のとおりとする。

北海道1 東北1 北信越1 関東2 東海1 関西1 中国1 四国1 九州2

ウ日本連盟の推薦選手であること。

エ以上において技術、体力、人格ともに全日本ボクシング選手権大会出場に相応しい選手であること。

(2) 競技者は医事委員より競技に適しているとの証明を記載された選手手帳を所持していない場合、競技会に参加できない。なお、年度始めに受ける総合健診については以下のとおり。

ア血液（血算）、尿検査を実施していること。

イ心電図、胸部レントゲンは次の節目に受診していること。

ボクシング開始時、中学・高校・大学の各入学時及び社会人としての競技開始時

ウCTスキャン（MRI）にて頭蓋内病変等によりボクシング競技に支障がないことが証明されていること。また、くも膜のう胞があり競技を希望する競技者は日本連盟医事委員の審査と許可を受けなければならない。（選手手帳に証明を明記又はCT証明書（別紙1・2・3のいずれか）を提出）

エ新型コロナウイルス感染症の感染拡大による対応は別途通知する。

8 階 級 男子

ミニマム 46 kg超 48 kg

バンタム 54 kg

ライト 60 kg

ウェルター 67 kg

ミドル 75 kg

クルーザー級 86 kg

スーパーヘビー級 92 kg超 の13階級

フライ 51 kg

フェザー級 57 kg

ライトウェルター 63.5 kg

ライトミドル 71 kg

ライトヘビー 80 kg

ヘビー級 92 kg

女子

ミニマム 45 kg超 48 kg

ライトフライ 50 kg

フライ 52 kg	バンタム 54 kg
フェザー 57 kg	ライト 60 kg
ライトウェルター 63 kg	ウェルター 66 kg
ライトミドル 70 kg	ミドル級 75 kg
ライトヘビー級 81 kg	ヘビー級 81 超の 12 階級

9 競技方法 トーナメント方式で、第1位、第2位、第3位（2名）を決定する。

10 競技・健診・計量日程

競技日程		健診・計量
10月30日(日)	18:00 組み合わせ抽選(オンライン)	
11月22日(火)	8:30 女子スポーツエントリーズチェック 9:45 男子スポーツエントリーズチェック 9:45 女子監督会議 11:00 男子監督会議 13:30 開会式	健診・計量はすべて墨田区総合体育館で行う
11月23日(水)	11:00 各級予選	7:50 受付 8:00 健診・計量
11月24日(木)	11:00 各級予選	7:50 受付 8:00 健診・計量
11月25日(金)	11:00 各級予選並びに準決勝	7:50 受付 8:00 健診・計量
11月26日(土)	10:00 各級準決勝	6:50 受付 7:00 健診・計量
11月27日(日)	10:00 各級決勝 競技終了後閉会式	6:50 受付 7:00 健診・計量

※ 階級によっては、22日15時00分～競技を行う。出場選手は「日本連盟ホームページ、大会参加者オープンチャット」で確認をすること。

(その際の該当選手の健診・計量は、12時00分から墨田区総合体育館にて実施する。)

※ スポーツエントリーズチェックは、監督もしくはコーチが参加し、選手手帳・健康チェックシート等提出用紙・健康申告書・(女子は女子健康申告書)・ユニフォーム(赤・青)・アンチ・ドーピング e-learning 終了証明書・チーフセカンドでインテグリティ研修受講済者全員分のセカンド手帳を持参し、参加すること。

(健康チェックシート等提出用紙とは「2週間分の健康チェックシート」・「参加承諾書」・「肖像権使用同意書」をチーム代表が確認したことを一括で提出する用紙である。)

参加2日目以降についてはチーム全員の健康チェックシートのチェック状況から判断して出場を自粛する者が「いる」・「いない」にのみ○をつけてチーム代表が受付で一括で提出すること

※ 健診・計量は、当日出場する選手のみ行う。なお、出場者数により、日程に変更がある場合がある。

11 インテグリティ研修は、事前にオンラインで実施する。

12 監督会議 令和4年11月22日(火) 9:45 女子監督会議 11:00 男子監督会議

13 抽選組合せ 事前にオンラインで行いシート制を採用する。

14 開会式 令和4年11月22日(火) 13:30 墨田区総合体育館

15 競技規則 日本連盟競技規則を適用しI B A国際ルールを準用する。また、全試合3分3ラウンド制とする。

16 表彰 各階級第3位まで賞状及びメダルを授与する。
3賞として最優秀選手賞、技能賞、敢闘賞を男女それぞれにトロフィーを授与する。その他、特別賞として墨田区長賞を1名に授与する。

17 旅費 監督、選手の旅費及び宿泊費は自弁とする。

18 参加申込

(1) 参加申込書

次の「日本連盟ホームページ」から参加申込書様式及びセカンド届出用紙 様式をダウンロードし、作成すること。

<https://jabf-revival.com/>

(2) 参加申込方法 (選手、監督、セカンド)

ア 日本連盟所定の参加申込システムを使用すること。

イ 日本連盟推薦選手は、日本連盟で申し込みをする。

エ ブロックの代表(男子・女子)は各ブロック連盟で、都道府県の代表(女子)は各都道府県連盟で一括して申し込みすること。

オ 申し込み後の階級及び選手の変更は一切認めない。

カ 個人による申し込みは受け付けない。

キ 参加料 一人 5,000円

(1) 下記口座へ都道府県ごとに振り込むものとする。

みずほ銀行 渋谷支店 (210)

普通 3383877 一般社団法人 日本ボクシング連盟

(2) 振り込みの際には振り込み者が都道府県団体・ブロック名等で明示されるよう留意すること。

ク 当大会では、自衛隊体育学校・所属大学（以下“所属大学等”という）の監督・コーチがセカンドにつく場合が多い。日連推薦・ブロック・都道府県選手のセカンドを“所属大学等”が行う場合、届け出については、“所属大学等”が一括してセカンド届け出をすること。“所属大学等”であっても、申込ブロック・都道府県等の指導者にセカンドを受ける場合はその選手について、“所属大学等”とは別でブロック・都道府県でとりまとめ届け出をすること。

“所属大学等”から一括しての届け出については、ブロック・都道府県から“所属大学等”に直接依頼すること。“所属大学等”はそれを受け電子データを作成し送信すること。

“所属大学等”に依頼せず都道府県の指導者がセカンドを行う場合は、ブロック・都道府県がその選手を取りまとめ電子データを作成し送信すること。

ケ 参加申込書様式およびセカンド届出用紙の電子データは、電子メールで(4)参加申込先 ①と②へ送信すること。

- (3) 参加申込期限 第1次締め切り（女子） 令和4年 8月31日（水）必着
第2次締め切り（男子） 令和4年10月14日（金）必着

(4) 参加申込先

- ① (一社)日本ボクシング連盟全日本選手権大会実行委員会 E-mail boxing@japan-sports.or.jp
② 全日本選手権大会実行委員会大会総務 E-mail harahanao@gmail.com

19 注意事項

(1) 個人で持参するもの

選手手帳、健康保険証、競技用具（ユニフォーム、シューズ、マウスピース、カッププロテクター・女子は任意 チェストガード・女子のみ任意）。女子は日本連盟検定の競技者所有のヘッドガードを使用することができる。

ア ユニフォーム

競技規則第30条「競技者の服装」により、ユニホームガイドラインを参照のこと。

イ マウスピース

赤色及び赤系統の色が含まれるマウスピースの使用は禁止する。

ウ カッププロテクター

カッププロテクターは各自の体格にあったものを使用し標的領域（ターゲットエリア・ベルトラインより上）を覆ってはならない。

(2) 今大会は、1・2回戦はバンテージを使用し、準決勝・決勝はハンドラップの使用を認める。バンテージ及びハンドラップは、大会本部から支給された日本連盟の検定品を使用すること。なお、バンテージは監督会議の時に全選手分を監督に支給する。

ハンドラップは、準々決勝・準決勝終了後、競技終了後のドクター健診時に、翌日ハンドラップを使用することを必ず申告すること。申告しなかった場合は翌日バンテージを使用することとする。

また、ハンドラップの装着者は実行委員会で確保しないので選手各自で確保すること。

- (3) 毛髪・入れ墨・タトゥーについては、日本連盟 2020. 10. 3 改訂 CHAPTER X を厳守すること。
- ア 前額部を覆う長髪は視野を制限し、眼球傷害を引き起こしてしまう。長髪の場合 は、女子はスイミングキャップを使用し、男子成年の場合はヘアゴムを使用して髪の毛が目に入らない様にしなければならない。ヘアピンなどのアクセサリ は使用してはならない。
- イ クリンチの際、ひげやつけまつげは対戦相手の眼に入り角膜擦過傷を引き起こす危険性があるため禁止である。口髭・あご髭はきれいに剃らなければならない。
- ウ 入れ墨・タトゥーは身体のどの部位についても、サイズの大小にかかわらず認め られない。シールも同様である。
- (4) 競技中の疾病・負傷等の応急処置は主催者が行うが、以降の責任は負わない。
- (5) 選手は、選手手帳の携行を必要とする。不携行の場合は出場させない。なお、競技会場において、選手手帳を忘れた選手には新たな更新を行わない。
- ア 選手手帳は、決勝まで勝ち進むとして、記入できる新しいページが2ページ以上あること。途中で記載欄がなくなった場合は参加資格を失う。
- イ 選手手帳を更新した場合、前の手帳も持参すること。持参しない場合は参加資格を失う。
- ウ 選手手帳には必ず写真を貼付すること。写真がない場合は参加資格を失う。
- (6) 監督・セカンドは、(一社)日本ボクシング連盟に令和4年度の役員・選手登録済みの者であること。なお、セカンドについては、以下のとおりとする。
- ア セカンド資格の有取得者であること。
- イ 事前に申請した者であること。
- ウ インテグリティ研修はチーフセカンドは参加必須です(その他のセカンドは任意参加)。
チーフセカンドで受講者は、スポーツエントリズチェック時にセカンド手帳を提出すること。
- (7) 公益財団法人スポーツ安全協会スポーツ安全保険、またはそれと同等以上の損害保険に加入していること。

《問合せ先》

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 Japan Sport Olympic Square 7階

(一社)日本ボクシング連盟 全日本選手権大会実行委員会

TEL 03-6804-6751 FAX 03-6804-6752 E-mail boxing@japan-sports.or.jp